

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と男女支援啓発地域連携事業に関する基礎研究				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	犬塚 協太
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	渡邊 聡
		所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	青山 知靖
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	犬塚 協太

講演題目	静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と男女支援啓発地域連携事業に関する基礎研究
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>【目的】男女共同参画社会の実現に関し、特にコロナ禍以降地域における男女を取り巻く状況は、生活や労働のさまざまな局面で多くの困難な新規課題を抱えつつある。こうした現状をふまえ、本研究は、特に地域におけるジェンダー平等推進と男女支援啓発のための地域連携事業に関する先進的事例についての資料調査、地方自治体と大学との連携研究事業に関する事例調査等に関する実証的研究を行うことを目的とした。</p> <p>【成果】今回の調査の結果、地域の各アクターが上記の目的に沿って実施する連携事業展開は、コロナ禍以降の社会変化に即して多様なテーマにわたって行われている実態がまず確認されたが、それらを大別すると、A.主に女性を対象とする事業、B.主に男性を対象とする事業、の2つに分類できることがまず明らかとなった。このうちA.についてはさらにA-1.キャリア形成をめざす女性支援に関わる事業と、A-2.何らかの困難を抱える女性のケア支援に関わる事業に細分化することができる。A-1は事業数も多く提供されるプログラムの種類においても多様であり、近年の女性の抱える生活や労働条件の多様化に対応している状況がうかがえる。特に、子育て中の女性の再就業支援や起業支援(福岡市)、ライフプランニングやコミュニケーションスキル支援(仙台市)といった従来からあるベーシックな女性労働支援事業に加え、女性のワーク・ライフ・バランス実現上の大きな課題であった家事労働の負担軽減を狙って家事の簡便化や家族との家事シェアリングの手法の習得を目的とする講座事業(東京都足立区)など、これまでにない新機軸の展開も見られた点に注目する必要がある。一方他に今回の調査で新たに明らかとなったのは、コロナ禍以降より弱い立場の女性の困難が増幅している現状に対応したA-2の事業の増加である。例えば、日本福祉大学、城西国際大学と青森県が連携して、DVや性被害、生活困窮などに苦しむ女性に対応して女性の自立支援を目的として実施された講座事業(青森県)や、就労女性のストレスケアに焦点を絞った支援事業(北九州市)、非正規シングル女性の自助的な居場所づくり事業(仙台市)など、これまでにない特色を持った新規事業の展開も注目される。さらに、男性相談支援事業(兵庫県伊丹市)や男性の家事スキル向上講座事業(同姫路市)など、Bの諸事業にも、従来以上に男性変革に踏み込んだ新規事業の増加が目立つ現況が明らかとなったといえる。</p> <p>【今後の展望】これらの成果を踏まえ、今後は本学における上記目的での地域との連携事業の一層の推進をめざして多様に広がる地域ニーズの方向性を丁寧に押さえ、先進好事例の情報収集と分析を継続的に行いつつ、ジェンダー平等に関する新規事業の可能性を探ることが重要と考えている。</p>